



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場取引所 大

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社

コード番号 3121 URL <http://www.mbkworld.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO

(氏名) 古川 令治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長

(氏名) 宮毛 忠相

TEL 03-3502-4910

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	755	—	△107	—	△118	—	△102	—
24年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △93百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△4.60	—
24年3月期第1四半期	—	—

※前第1四半期は非連結会社のため、平成24年3月期第1四半期の数値については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	5,226	2,743	51.9	122.20
24年3月期	5,104	2,880	55.9	128.41

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 2,713百万円 24年3月期 2,851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,080	19.3	△21	—	△42	—	43	—	1.98
通期	4,010	12.0	124	—	90	—	157	—	7.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	25,615,056 株	24年3月期	22,615,056 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	412,870 株	24年3月期	412,870 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	22,202,186 株	24年3月期1Q	22,237,905 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社は、平成24年3月期第1四半期まで非連結会社であったため、当第1四半期連結累計期間の経営成績については、前年同期との比較を行っておりません。

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつあります。先行きについては、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、世界経済の動向や円高の長期化による下振れリスクが存在しております。

当社の主要な事業領域についてみると、国内のホテル・レジャー市場は、一時の急激な落ち込みから立ち直ったものの、円高やデフレの影響により厳しい状況が続いております。国内外の金融・不動産市場は、欧州の経済危機を背景とした金融情勢の不確実性、為替相場の変動などから、依然として先行きが不透明な状況にあります。また、中国経済は、内需が伸び悩む中で景気拡大テンポが緩やかになっており、今後も成長が続くと見込まれるものの、輸出、不動産価格や物価の動向などに留意する必要があります。

このような経済状況のもとで、当第1四半期連結累計期間の当社グループは、新規投資案件の発掘のほか、新たに子会社とした旭工業株式会社の経営基盤の構築、並びに一時落ち込んだオペレーション事業の業績の立て直しなどに注力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、震災の影響等による落ち込みがあった前連結会計年度から立ち直りをみせているものの、企業投資及び不動産投資の目立った回収がなく、売上高755百万円、営業損失107百万円、経常損失118百万円、四半期純損失102百万円となりました。

報告セグメントごとの業績は、次の通りであります。

(マーチャント・バンキング事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、主に日本及び中国の企業及び不動産向けの投資事業、並びにアドバイザリー事業を営んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、不動産賃貸による収益50百万円のほか、目立った投資回収益などがなく、売上高57百万円、セグメント損失16百万円となりました。

また、新規事業である太陽光発電関連事業については、ファンド組成や建設用地の検討を進めているほか、旭テクノプラント株式会社(岡山県倉敷市)、SINOSOL AG(ドイツ)及び当社の三社の合弁出資により太陽光発電所のEPC(注)等を担う旭シノソル株式会社を設立するなど、早期の事業化に向けて取り組みを進めました。

(注) EPC=Engineering Procurement and Construction (エンジニアリング・調達・建設)

(オペレーション事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、宿泊施設の運営、ボウリング場の運営、給食業務の受託などを行っております。

当第1四半期連結累計期間は、事業所全般に業績改善が見られ、通期セグメント損失174百万円を計上した前連結会計年度と比較して赤字幅が縮小傾向にあり、売上高665百万円、セグメント損失20百万円となりました。

なお、当事業部門におきましては、本年5月28日付でホロニック株式会社(兵庫県神戸市)グループとの間で以下の事業所の再編を行うことを決定し、同7月1日(第2四半期)付で各取引が完了しております。

- ①「加古川プラザホテル」(兵庫県加古川市)を運営する株式会社ホテルシステム二十一株式会社の全株式をホロニック株式会社より新規に取得し新たに当社子会社といたしました。
- ②当社運営の「ホテルグランディ宮崎」(宮崎県宮崎市)及び「大分アリストンホテル」(大分県大分市)に関する事業をホロニック株式会社グループに事業譲渡いたしました。本件に伴い、第2四半期連結会計期間において、事業譲渡益101百万円程度を計上する見込みです。

(マニュファクチャリング事業)

当社グループは、連結子会社である旭工業株式会社(東京都青梅市)において、食品製造機械の製造、販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、本年7月(第2四半期)に納品が完了した受注製品の生産に注力し、大きな売上がなかったことから、売上高32百万円、セグメント損失18百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前期末と比べ122百万円増の5,226百万円となりました。主な増減理由は、四半期純損失の計上等による現金及び預金の減少107百万円、投資回収等による営業投資有価証券の減少211百万円、株式会社ホテルシステム二十一の株式取得に係る前払金の増加468百万円、敷金及び保証金の回収による減少67百万円などであります。

負債は、前期末と比べ260百万円増の2,483百万円となりました。主な増減理由は、短期借入金の増加80百万円、事業譲渡代金の前受け等による前受金の増加147百万円などであります。

この結果、純資産は前期末と比べ137百万円減の2,743百万円となり、自己資本比率は51.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日付当社「平成24年3月期 決算短信」において公表した連結業績予想から変更ありません

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(連結納税制度の適用)

当第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	672,441	565,362
受取手形及び売掛金	136,376	110,007
営業投資有価証券	757,369	545,566
営業貸付金	72,689	72,689
販売用不動産	214,432	212,507
商品及び製品	5,603	5,334
仕掛品	15,958	50,516
原材料及び貯蔵品	33,679	35,642
預け金	170,895	165,657
前払金	—	468,209
その他	104,351	155,371
貸倒引当金	△360	△130
流動資産合計	2,183,437	2,386,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,065,082	1,059,032
土地	1,391,672	1,391,672
その他（純額）	106,234	106,011
減損損失累計額	△302,085	△302,085
有形固定資産合計	2,260,903	2,254,630
無形固定資産		
のれん	131,470	124,166
その他	10,140	9,395
無形固定資産合計	141,610	133,561
投資その他の資産		
投資有価証券	79,204	79,204
敷金及び保証金	268,144	200,194
その他	174,864	176,951
貸倒引当金	△4,136	△4,499
投資その他の資産合計	518,076	451,850
固定資産合計	2,920,591	2,840,043
資産合計	5,104,029	5,226,780

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	110,531	118,890
短期借入金	170,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	126,096	122,196
未払費用	157,626	166,507
その他	295,811	447,697
流動負債合計	860,065	1,105,291
固定負債		
社債	600,000	600,000
長期借入金	475,004	468,755
長期預り敷金保証金	213,422	234,424
退職給付引当金	32,500	32,500
役員退職慰労引当金	11,600	11,600
その他	30,457	30,822
固定負債合計	1,362,984	1,378,102
負債合計	2,223,049	2,483,393
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,765,732	2,765,732
資本剰余金	20,849	20,849
利益剰余金	264,909	118,370
自己株式	△83,258	△83,258
株主資本合計	2,968,233	2,821,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△117,193	△108,630
その他の包括利益累計額合計	△117,193	△108,630
新株予約権	29,939	30,323
純資産合計	2,880,979	2,743,386
負債純資産合計	5,104,029	5,226,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	755,862
売上原価	258,828
売上総利益	497,034
販売費及び一般管理費	604,111
営業損失(△)	△107,077
営業外収益	
受取利息	561
業務受託料	1,000
その他	1,681
営業外収益合計	3,242
営業外費用	
支払利息	3,562
社債利息	3,627
その他	7,145
営業外費用合計	14,336
経常損失(△)	△118,170
特別利益	
新株予約権戻入益	755
受取補償金	15,029
その他	3,796
特別利益合計	19,581
特別損失	
その他	656
特別損失合計	656
税金等調整前四半期純損失(△)	△99,245
法人税、住民税及び事業税	6,844
法人税等調整額	△3,955
法人税等合計	2,889
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△102,134
四半期純損失(△)	△102,134

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△102,134
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	8,562
その他の包括利益合計	8,562
四半期包括利益	△93,572
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△93,572

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合 計 (千円)	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント ・バンキング 事業	オペレーション 事業	マニファク チュアリング 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	57,637	665,407	32,817	755,862	—	755,862
セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	—	—	—	—
計	57,637	665,407	32,817	755,862	—	755,862
セグメント損失(△)	△16,055	△20,728	△18,168	△54,952	△52,124	△107,077

(注) 1. セグメント損失の調整額△52,124千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
吸収分割契約

当社は、平成24年7月30日開催の取締役会において、リゾートホテル兼マンション「ヴィラ北軽井沢エル・ウィング」（群馬県吾妻郡、以下「本施設」）に関する事業（以下「本事業」）を、当社の新設子会社に承継させる吸収分割（以下「本会社分割」）を行うことを決議しました。

(1) 会社分割の目的

当社グループは、平成24年3月期において大幅な損失を計上し、業績の立て直しが急務となっております。中でも、本事業は、開始以来損失が続いており、かねてより抜本的に採算を改善させる施策を検討してまいりました。このたび、かかる施策の一環として、新設する子会社に本事業を承継させることにより、本事業を分社化することを決定いたしました。

会員制リゾートホテル兼マンションという特殊な形態を取る本施設は、当社グループにおいて業務運営の独立性が高く、当社本体による管理を離れ、独立した採算管理の下で、現地人員を中心に事業を推進していくことが、経営管理上有益であると判断いたしました。

また、当社は、本事業について、現在、第三者との間で業務提携または事業撤退のための具体的な交渉を行っております。本会社分割後は、承継会社である新設子会社の株式の一部または全部を売却することにより、こうした取り組みを円滑に進めることが可能になるものと考えております。

(2) 本件吸収分割の日程

吸収分割契約承認取締役会	平成24年7月30日
吸収分割契約締結	平成24年7月30日
吸収分割効力発生日	平成24年9月11日（予定）

(3) 会社分割の要旨

① 分割方式

当社を分割会社、株式会社ヴィラ北軽井沢を承継会社とする吸収分割といたします。

② 会社分割に係る割当ての内容

本会社分割による株式その他の対価の割当てはありません。

③ 分割会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当社が発行する新株予約権の取扱いについて、本会社分割による変更はありません。当社は、新株予約権付社債は発行しておりません。

④ 会社分割により増減する資本金

資本金の増減はありません。

⑤ 承継会社が承継する権利義務

承継会社は、分割の効力発生日において、本事業の遂行に必要とされる分割会社の資産、負債、雇用契約、その他の権利義務を、分割会社より承継いたします。

⑥ 債務履行の見込み

本会社分割後、承継会社が負担すべき債務履行の見込みについては問題ないものと判断しております。

⑦ 会社分割後の状況

分割会社及び承継会社の商号、主要な事業内容、本店所在地、代表者、資本金、及び事業年度の末日の変更は予定しておりません。

(4) 分割当事会社の概要

商 号	マーチャント・バンカーズ株式会社 (分割会社)	株式会社ヴィラ北軽井沢 (承継会社)
事 業 内 容	マーチャント・バンキング事業 オペレーション事業	ヴィラ北軽井沢エル・ウィングの運営に関する事業(予定)
設 立 年 月 日	昭和22年3月17日	平成24年7月30日
本 店 所 在 地	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
代 表 者	代表取締役社長兼COO 古川 令治 代表取締役会長兼CEO トミー・ウォン	代表取締役 古川 令治 (当社代表取締役社長兼務)
資 本 金	2,765百万円	1百万円
発 行 済 株 式 数	22,615千株	100株
純 資 産	2,926百万円	0.7百万円 (概算)
総 資 産	5,100百万円	1百万円 (概算)
売 上 高	3,329百万円	一百万円
営 業 利 益	△441百万円	一百万円
経 常 利 益	△448百万円	一百万円
当 期 純 利 益	△624百万円	一百万円
事業年度の末日	3月末日	6月末日
従 業 員 数	148名	一名
大 株 主 及 び 持 株 比 率	トータルネットワークホールディングスリミテッド 31.6% 古川 令治 25.5%	マーチャント・バンカーズ株式会社(当社) 100%

※1 分割会社の純資産、総資産、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、従業員数、大株主及び持ち株比率は、平成24年3月期の当社個別業績をもとに記載しております。

※2 承継会社は、本事業の承継のため、平成24年7月30日付で設立登記の申請を行った新設会社であるため、実績はありません。

(5) 分割する事業部門の概要

① 分割する事業部門の概要

施 設 名 称： ヴィラ北軽井沢エル・ウィング
 事 業 内 容： 会員制リゾートクラブ事業、マンション管理事業、レストラン事業、及びホテル事業
 所 在 地： 群馬県吾妻郡長野原町大字北軽井沢字大屋原1924番地172
 営 業 開 始 日： 平成22年12月1日(当社グループによる営業開始日、当初開業は平成5年4月1日)
 従 業 員 数： 社員9名及び臨時雇用者13名
 客 室 数： 203室(うち94室は分譲マンション、109室は会員制ホテル)

② 分割する事業部門及び分割会社の経営成績(平成24年3月期実績)

	分割部門 (A)	当社個別業績 (B)	比 率 (A/B)	当社連結業績 (C)	比 率 (A/C)
売 上 高	186百万円	3,329百万円	5.6%	3,582百万円	5.2%
営 業 利 益	△64百万円	△441百万円	－%	△458百万円	－%

※1 分割部門の経営成績は、本社部門経費の配賦はしていません。

※2 分割部門は、会員権販売部門(マーチャント・バンキング事業)とホテル・施設管理部門(オペレーション事業)よりなっており、上記の分割部門の経営成績は両者の合算であります。

③ 分割する資産、負債の項目及び帳簿価額

資産項目	帳簿価額	負債項目	帳簿価額
流動資産	331百万円	流動負債	180百万円
固定資産	33百万円	固定負債	139百万円
資産計	364百万円	負債計	319百万円

※当該会社分割が平成24年6月末日にて効力が発生したものと仮定した場合における概算額を記載しております。